

湯前町



長谷 和人 町長

「働く場の創出」「まちの魅力向上・情報発信」「若者が安心して暮らせる環境づくり」の3つを重点課題と捉え、課題を克服し、これまでの取組みをさらに進化・発展させ持続可能なまちづくりを推進するための基本目標を定めました。この戦略に基づき、町民や団体、事業者などが英知を集結し、町民主導の視点を持ちながら取り組んでいくことで「誇りや愛着を育み、ずっと住み続けたいまち」を実現することができると考えます。

- 寄付御礼**
- ・贈呈式開催(首長出席、寄付額100万円以上)
 - ・感謝状贈呈(寄付額10万円以上) ・地公体広報誌掲載 ・HP掲載 ・視察受入
 - ・功労者表彰推薦 ・紺綬褒章推薦
 - ・その他(100万円以上の寄付時は木製の感謝状を贈呈いたします)

人口	面積
総人口……3,627人	総面積……48.37km ²
男……1,700人	農用地……5.71km ² (11.8%)
女……1,927人	森林……35.86km ² (74.1%)
世帯数……1,401世帯	宅地……1.49km ² (3.1%)
人口構成比	教育機関
15歳未満……10.8%	小学校……1校
15～64歳……45.1%	中学校……1校
65歳以上……44.1%	高等学校・高専……—
	大学・専門学校他……—

産業構造

第1次産業……798(9.0%)
第2次産業……3,512(39.4%)
第3次産業……4,604(51.6%)

生産総額:百万円



交通アクセス

- 湯前町役場まで
- 九州自動車道 人吉ICから……約26km
- くま川鉄道湯前駅から……約800m

※データは令和4年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

湯前町まち・ひと・しごと創生推進計画

「働く場の創出」
「まちの魅力向上・情報発信」
「若者が安心して暮らせる環境づくり」



- 基本目標 1 力強い産業としごと創生**
基幹産業である農林業をはじめ、商工業の事業所や就業者等への支援や創業の促進等により地域産業力の向上を図り、町民が安心して働けるよう雇用環境を整備します。
- 基本目標 2 誇れる・選ばれるまち創生**
豊かな地域資源を活用し、独自の魅力づくりを行います。また災害に強いまちづくりの推進や医療福祉の充実など、住みよさ実感向上を促進につなげます。
- 基本目標 3 未来を担う若い世代の希望創生**
若い世代が安心して子育てできるよう、切れ目のない支援に取り組みます。また小中一貫教育をはじめ、質の高い教育の確立により人間性豊かな子どもの育成を目指します。

湯前町

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

1 **地域強みを活かした稼ぐ力の向上を目指します**

基幹産業である農林業は、新たな担い手等を育成・確保し、競争力のある産地づくりやブランド化等を推進します。新たなビジネスモデルの創出による販売力強化・展開など総合的に取り組み、持続可能で安定した経営基盤の構築を目指します。



湯前町産お米(びかまる)の生産者

企業様へ
▶ 新たなビジネスモデルの創出について、アイデアやノウハウ等をお持ちの企業様のお声をお聞かせください。

2 **魅力的な着地型観光及び広域連携観光を推進します**

本町を訪れる観光客の受け入れ体制の整備のため、行政・観光協会・商工会・町内の観光事業者などが相互協力・連携を図り、おもてなしの仕組みづくりや、サービスの向上に取り組み、魅力的な着地型観光を推進します。



里宮神社にある色鮮やかなもみじの花手水

企業様へ
▶ 企業様向けの湯前ワーケーション事業もありますので、本町へ足を運んでいただき、町の風土を体感してください。

3 **関係人口の創出と継続的な地域の活性化を目指します**

将来的な移住・定住に向けた裾野を拡大するため、本町に継続的に多様な形で関わっていただく「関係人口」の創出・拡大を目指し、地域とのつながりの機会づくりや、地域課題の解決等に継続的に関わるきっかけの提供に取り組みます。



JTの森保全活動でのレクリエーション

企業様へ
▶ 関係人口の創出・拡大について、企業様からのアイデアやお声をぜひお聞かせください。

4 **スポーツ・健康のまちづくりを推進します**

いつまでも健康でいきいきと楽しく暮らせるようスポーツ活動への取り組みを支援していきます。子どもから高齢者まで、全ての住民が生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を整備し、住民の健康・体力づくりを促します。



湯前町で毎年開催の球技大会

企業様へ
▶ スポーツ活動への取り組みについて、アイデアやご支援いただける企業様をお待ちしております。

重点プロジェクト

ゆのまえグリーンパレス場がキャンプの聖地になるよう目指します

<SDGs>関連するゴール



総事業費 3,000千円(寄付上限額:1,000千円) 寄附目標額 令和5年度 1,000千円
数値目標 ●キャンプ場稼働率 …… 20%(現状12%)

背景・現状の課題

本町は熊本県の南部、球磨盆地に位置し、町の東側は九州山地を隔てて宮崎県と隣接しています。自然豊かな町にある「ゆのまえグリーンパレス」は広大な自然に囲まれた緑豊かな公園です。ここには温泉宿泊施設である「ゆのまえ温泉湯楽里」をはじめ、整備された芝生広場やキャンプ場、ゴーカート場があり、複合施設として年間を通して多くの観光客が訪れています。

ゆのまえグリーンパレス場ですが、稼働率は決して良いとはいえません。大きな原因のひとつが全国的な知名度の低さにあると考えています。リピートいただいている来場者の方もいらっしゃる中、新規顧客獲得が課題となっています。



広大なグリーンパレス広場

事業の目的・内容

令和4年度に「ゆのまえグリーンパレスキャンプ場」のホームページを新設し、予約システムを導入しネットでの予約が可能になりました。しかし、認知度の低さから来場客数は伸び悩んでいる現状です。本プロジェクトでは、「行きたい」と思ってもらえるキャンプ場になることを目的に、来場ターゲットの明確化と情報発信の強化を行います。

来場ターゲットの分析をおこない、来場客のニーズに沿った設備・インフラ整備を行います。また、認知拡大のためにSNS等を活用した情報発信に取り組みます。



キャンプの聖地に!プロジェクト

寄附の具体的なメリット

今事業へのご支援は、SDGsへの取り組みやCSR活動に役立つことに加え、感謝状の贈呈や町ホームページへの掲載も行います。

重点プロジェクト

豊かな森林資源を未来へ引き継ぎ地元林業の雇用創出を目指します

<SDGs>関連するゴール



総事業費 106,513千円 寄附目標額 令和5年度 5,000千円
数値目標 ●森林による二酸化炭素吸収量 …… 240t(年間目標80t)

背景・現状の課題

本町の森林面積は約7割を占め、林業が基幹産業として栄えるほど森林は貴重な資源とされてきました。全国的に見ても適切に管理されていない森林が増加するなか、本町独自の森林整備も難しくなっており、適切に管理されていない森林が増加しています。また、林業従事者の担い手の減少・高齢化も懸念されており、林業を取り巻く環境は良好とはいえません。

地球温暖化対策や環境問題として森林の重要性が見直されているなか、企業においても社会貢献や環境問題への意識など植樹等による森づくりへの機運が高まっています。



整備前の森林の様子

事業の目的・内容

こうした状況から、本町では林業振興と雇用確保を目指し森林整備に力を入れてきました。貴重な資源である森林資源を将来の世代にしっかりと引き継いでいくためにも、森林に関心を持たれた企業の皆さまと一緒に森林の保全活動を続けていくことを目的としています。また、10年以上にわたり、企業の皆さまと協働で森づくり活動を続けている実績もあります。企業の皆さまのCSR活動やSDGsへの取り組みとして熊本県森林吸収量認証制度による認証へのお手伝いをする事も可能です。

森林が人間にもたらす恵みは、二酸化炭素を吸収したり、土石流などを防ぎ災害から私たちを守ってくれています。そういった森林資源を守っていくためにも、植林や獣害防護ネットの設置、下草刈り等を実施します。



企業と子ども連による森林保全活動

寄附の具体的なメリット

森林整備事業へのご支援は、企業等のCSR活動やSDGsへの取り組みなど環境問題に取り組む企業としてPRできます。また感謝状の贈呈や町ホームページへの掲載も行います。

寄附申出書の事業名選択時は「キャンプの聖地に!プロジェクト」を選択してください。

寄附申出書の事業名選択時は「みらいのもり創造プロジェクト」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。